

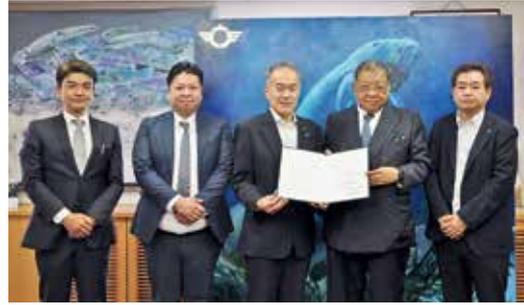


6月7日、安楽島小学校で地域ダンス創作授業が行われました。この授業はキャリア教育、地域学習の一環として日本ストリートダンススタジオ協会とガイドドリンクの協賛を得て、6年生を対象に行われました。

この日は地域のみなさんから地域伝承の踊りとして「鳥羽物語」の歴史と踊り方を学びました。また、チームに分かれて、ストリートダンスと鳥羽物語の振り付けをミックスした「地域ダンス」をつくり始めました。

参加した子どもたちは「リズムと振り付けを考えながら自分たちで地域ダンスをつくるのがたのしかった」と嬉しそうに話してくれました。

安楽島小学校で地域ダンス創作授業！



6月9日、松尾第二期工業団地（松尾町地内）において、株式会社コンフォートアライアンスが開始する旅館・ホテル向けリネンサプライおよびリネン資材の刺しゅう製造事業に係る企業立地に関し、株式会社三洋、株式会社まちコム、鳥羽市及び三重県との5者による企業立地に関する基本協定を締結しました。今後、松尾第二期工業団地において工場を新設し、併せて新規雇用従業員を募集する予定です。

中村市長は「市にとっては悲願の企業進出。観光地としても、現場と利用者が近く、理にかなっている。今後が非常に楽しみ」と期待を寄せました。

松尾第二期工業団地の企業立地に関する協定を締結しました



6月8日、弘道小学校でボランティアによる紙芝居の実演がありました。

これは、畔蛸町の家田雅和さんが「地域の子どものために自分のことをしたい」と申し出て行われたもので、1年生から4年生の25人の児童が参加し、昔の暮らしの様子や工夫を知るための授業として、昔の話を聞いたり紙芝居の実演を体験しました。

子どもたちは「昔のことや紙芝居のことを知ることができてうれしかった」と笑顔で話してくれました。

弘道小学校でボランティア紙芝居



6月3日、加茂小学校の3・4年生が総合的な学習の一環でサツマイモの苗の植え付け体験をしました。

これはJA伊勢あぐり加茂支店と市農水商工課の協力を得て行われたもので、「べにはるか」400本と、鳥羽市がこれから力を入れて普及を目指す「兼六」70本の苗が提供されました。体験には3・4年生42人の児童が参加し、手も足も土まみれになりながら一生懸命サツマイモの苗を植え付けました。

子どもたちは「楽しかった!」「10本以上植えた」「芋ほり楽しみ!」と笑顔で話してくれました。

加茂小学校の児童がサツマイモの苗を植えました